

# 平成16年3月期第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月29日

## 王子製紙株式会社

コード番号 3861 上場取引所 東京、大阪、名古屋、福岡、札幌

(URL <http://www.ojipaper.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 鈴木正一郎

問合せ先 経営管理本部 副本部長 木塚 浩 (TEL: 03-3563-1111)

### 1. 平成16年3月期第1四半期の連結業績（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
16年3月期第1四半期	293,823	16,704	14,658
(ご参考)15年3月期 通期	1,213,173	56,490	47,941

(注) 当第1四半期の連結業績数値につきましては監査法人による監査は受けておりません。

連結業績数値の作成に際しては、中間連結財務諸表諸規則に準拠していますが、固定資産の減価償却の方法について中間期見積り額のうち当第1四半期分を計上する等、簡便的な方法を採用しております。

当第1四半期は四半期業績開示の導入初年度のため、前年同期比較は記載しておりません。

### 2. 連結業績の概況

当第1四半期の連結業績は、売上高が293,823百万円、経常利益は14,658百万円となり、概ね当初の計画通りに推移致しました。

当第1四半期における各事業セグメント毎の売上の概況は以下の通りです。

**紙パルプ製品事業**：売上高は178,641百万円となりました。

一般洋紙においては、新聞用紙の販売が、頁数の減少による需要減及び輸出の受注減により前年同期に比し減少し、印刷用紙は、国内、輸出とも前年同期に比し減少しました。また、市況品種の価格は昨秋の価格復元後の水準で推移しました。

包装用紙は、国内販売は堅調に推移しましたが、輸出は減少し、価格は概ね横這いで推移しました。

衛生用紙の販売は前年同期に比し減少し、価格は価格復元後の水準で推移しました。

板紙では、段ボール原紙の販売が輸出の受注減等により前年同期に比し減少し、白板紙の国内販売は堅調に推移しましたが、輸出は減少しました。また、価格は横這いで推移しました。

**紙加工製品事業**：売上高は82,734百万円となりました。

段ボール加工品は、青果物および食品向け等を中心に天候不順の影響もあり販売は低調に推移しましたが、取引条件の改善も含め価格は引き続き復元に努めました。

感熱記録紙は、国内販売は堅調に推移しましたが、輸出は減少し、価格は横這いで推移しました。

紙おむつの販売は、前年同期並みとなり、価格は復元に努めました。

木材・緑化事業：売上高は 11,167 百万円となりました。

その他の事業：売上高は 21,280 百万円となりました。

なお、当四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象はありません。

### 3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想

中間期および通期の連結業績予想は、平成 15 年 5 月 21 日に発表したとおりの進捗を予想しており、業績予想に変更はありません。

(ご参考) 平成 15 年 5 月 21 日発表 平成 16 年 3 月期連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	610,000	30,000	13,000
通 期	1,230,000	73,000	35,000

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上